

# アカゲラ通信



## 近くの街路樹や公園の樹木を見てみよう

暑い夏は近くで・・・今日は、旭山記念公園の近くの街路樹や公園木に注目してみました。

- 南9条「菊水旭山公園通」はイチョウ並木で、旭山記念公園の門を出てすぐの辺りから西3丁目パークホテル前まで3km以上続いています。途中何か所か木がない区画がありますが、そのうち西20丁目から22丁目の間は、道路拡幅工事のため2024年度にすべてのイチョウが伐採されました。
- 「西20丁目通」は、南9条から南14条までシナノキとオオバボダイジュの並木です（写真1）。この2種は種苗業者の間では厳格に区別されておらず、両方が混ざって植えられることがあります。実際にこの通りでも両種が確認でき、さらに両方の特徴を併せ持つ雑種と思われるものもあります。
- 南4条と5条の間の「21条線」は、西21丁目から西26丁目までが八重桜並木となっており、近年「円山桜並木」として地元以外にも知られるようになりました。
- 八重桜並木は、緑丘小学校近くの「南11条中央線」、西22丁目から23丁目の間にあります。
- 通称「西25丁目バス通」（道道453号線）から「環状通」にかけ、南6条辺りから南22条辺りの街路樹はハクウンボクです（写真2：イオン前）。秋に実がなるとヤマガラが実を食べに来ることもあります。
- その「環状通」と「西25丁目バス通」が分岐する南7条西25丁目の三角緑地に、北海道では自生しないケヤキが2本あります（写真3）。「環状通」が整備された1960年頃に植えられたものとの話です。なお、ケヤキは大通公園西6丁目にまとまって植えられており、大木もあります。
- 南10条西21丁目の「明星公園」にカシワの大木が1本あります（写真4）。カシワは藻岩山や円山ではほとんど見られませんが、ここの木が自生なのか植えられたものは定かではありません。
- 旭ヶ丘1丁目「旭ヶ丘公園」横の道100m弱にハクモクレン並木があり、春先はきれいに咲きます。
- 街路樹は、所々に、本来の通りとは違う種類の木が植えられていることがあります。

これは、その場所に元々あった木が枯れるなりしてまた植樹するとなった際に、何らかの理由で違う種類の木を植えたものだと推察されます。実際、「西20丁目通」では、元々のシナノキやオオバボダイジュよりも明らかに小さいイチョウがところどころに植えられています。

お住いの近くの街路樹は何ですか？ 買い物や散歩の際に見て歩くのはいかがでしょうか。



## レストハウス「ぱるく」営業中！ 10時～17時



旭山記念公園レストハウス「ぱるく」です。  
北海道では8月8日が七夕です。ぱるくの店内では毎年恒例、  
お願い事を書いた短冊を吊るす木の枝を用意しました（左写真）。  
ぜひかなえたいお願い事を書きにお越し下さい。  
ぱるくでは、「珈琲フロート」「ココアフロート」「アフォガード」や「肉巻きライスドック」（右写真）などの新メニューも増えました。  
ぜひ遊びにお越し下さい、お待ちしております！



400円(税込)

# 「吊り橋」通行止めのお知らせ:2025年8月26日(火)~9月9日(火)

旭山記念公園内の「吊り橋」は、来年度に予定されている補修工事の事前調査を行うため、上記の期間通行止めとなります(予定)。期間中は、「吊り橋」南側の散策路などからの迂回をお願いいたします。  
ご迷惑をかけますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

## 旭山野鳥メモ 71 チュウヒ

チュウヒ Eastern Marsh Harrier *Circus spilonotus* タカ目タカ科

夏鳥。アシ原、湿地や海岸草原で繁殖。旭山では2025年5月に上空を飛ぶ姿が確認され、120種目の記録種となった。

他の猛禽類より目が前向きについており、フクロウ類に似た顔つき、それにより獲物との距離をより正確に捕捉できる。翼をV字型に高く上げて飛翔するのも特徴。低空でゆっくり飛びながらネズミ類などの餌を探す。

トヨタのハリアーはチュウヒの英名から名付けられたもので、かつてはフロントグリルにチュウヒをあしらったエンブレムが付されていたが、現行モデルでは廃止されている。トヨタ自動車は日本野鳥の会の協賛企業のひとつとなっている。

国内で繁殖が確認されているのは130つがい前後、関西では消滅した繁殖地もあるらしく、生息数の減少が懸念されている。日本野鳥の会では2024年度より「チュウヒ保護プロジェクト」が始動している。

北海道ではまだ広く見られるが、チュウヒが生息する湿原草地環境は平地のため山地よりも開発されやすく、風力発電やメガソーラー等の利用で、安泰ではなくなってきた。チュウヒをずっと見てみたいものだ。



## 2025年8月の野鳥トピックス

- シマエナガ：ときどき見られるくらいで少ないです
- コサメビタキ：幼鳥が「学びの森」などで見られています（右写真）
- キビタキ、オオルリ：幼鳥がときどき見られています
- ヤブサメ：囁りは聞かれなくなりましたがときどき見られます
- クマゲラ：園内で週3～4くらい見られています
- ヤマゲラ：ときどき見られるようになってきました
- アカゲラ・オオアカゲラ・コゲラ：幼鳥が見られています
- シジュウカラ、ハシブトガラ、ヤマガラ：幼鳥が見られています



## 旭山ミニ生き物図鑑2025年8月



エゾシカ「バンビ」きょうだい 7/26



赤毛のエゾリス 7/26



クマゲラ親子3羽（左上が母） 7/26



メジロ親子3羽で羽づくろい 7/23



ノシメトンボ 7/11 今年初認



カラスアゲハとクサギの花 7/21



ダイコンソウ旭山に多い 7/22



ヨツバヒヨドリ 7/16



公式サイト

「アカゲラ通信」 第142号 2025（令和7）年8月1日発行

(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311（金・土・日・祝日 10時～16時）FAX 011-200-0351